



夏の大雨で再び被害を被った能登半島。少し時間が経った今でも通行止めが続いています。しかし、自転車旅ができないというわけではありません。キューシート、ルートの手指示に従って安全に十分気を付けて走行してください。キツイ区間が無いとは言えませんが信号は比較的少なく、気持ちよく走れるルートになっています。前半が押していても大丈夫、後半で挽回できますよ。



全面通行止めは2ヶ所、44.5km(左の写真)、96.9km地点(右の写真)です。



スタート～PC3

朝6時のスタートですので、市街地の混雑はありません。すぐに市街地を抜けれることでしょう。内灘町に入ってから路面に気を付けてください。郊外ではありませんが、ひび割れ、穴が多数あります。かほく市に入ればいよいよ能登半島です。原則的に路肩に寄りすぎないようにしましょう。今回の大雨だけでなく地震の影響が色濃く出ており、穴や隆起に加えて小石が多数転がっています。前述で挙げた通行止めが気多大社付近、PC2空港前にあります。迂回の指示に従ってください。全面だけでなく、片側の交互通行箇所が多数あります。当日は数が減っている可能性があります。穴水町の前の重複区間、空港前、道の駅桜坂前のトンネル前後の区間、PC3の10km前区間は注意が必要です。工事信号や指示がない片側通行もあります。危険が無いように走行してください。

PC3～ゴール

つくモルを過ぎると片側通行も減り、路面の心配は減ってきます。折り返しで穴水町に戻る形ですが、それなりのアップダウンがあります。風向きによってはそれなりに脚を削ってくるでしょう。往路で穴水町を通過する際にチェックしておくと良いのは穴水町の補給箇所です。PCで補給は勿論していることと思いますが、不足があれば穴水町で補充すると良いでしょう。能登島もアップダウンがあります。PC6の先を抜ければもう険しい登りはありません。氷見市の国道160号、高岡市の8号は交通量が多いので、車に注意して走行してください。最後の天田峠は時間が遅くなると野生動物の危険性があります。注意して降ってください。



大雨の影響で路面がどれだけ荒れているか心配で心配でしょうがなかったのですが、小石は多く感じたものの意外とスムーズに走れて安心しました。お昼の休憩を能登空港付近、つくモル、能登町で候補を立てていましたが、能登町まで我慢できずつくモルで比較的抑え目の価格のカレーを頂きました。折角の自転車、もっと奮発しても良かったかもしれません。夕飯は氷見市がお勧めです。主催さんから教わった、氷見ラーメンは自分も一押しです。「チャリで来た。」と申し出れば過去2回の訪問でどちらもドリンクサービスして頂きました。今回は寄りませんでしたが、グロス20km/hの進行で17時頃通過です。夜営業開始にピッタリ。もちろん、周辺でお寿司も良いですし、国道160号には我々ランドヌールの味方、チェーンの牛丼屋さんがいます。ルート全体で補給切れの恐れはほぼありません。思い思いの補給で旅を彩られると良いでしょう。

